

刊夕日三十月一十



定価一冊五銭 一月五拾五銭 郵費五銭
 廣告料五號十二字 一行五拾五銭
 日曜祭日の日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

両親の新舊

讀者諸兄姉貴方方がその例れに型に屬するかを反省して下さい。

上村 哲彌

未來への希望

舌とペンを以て表はす凡ての悲しい語の中で、最も悲しいのは「あゝなれば宜かつたものを」と云ふのである。

さもあらばあれ、吾々の凡てのため若干の希望が、人の眼から隠れて深く埋まつて居る、そして後に、天使が墓から其石をとり去るであらう。

右の引用句は、私の最近病床で讀んだ小説から拾つたものである。筆者が何人であつたかを今思ひ出せないが、兎に角心を撃たれる句だ。如何に吾々に、悲しい、そして取返しのできない悔恨の多いことよ！吾々の自由意志の力でそうでなく出来たものを、自らの臆病や、け怠や、淺慮や、不注意等のために仕出かした過失に對して、後悔を感ずるといふことは、人間が所謂倫理的な存在である限り避け難いところである。否、深刻な道徳的反省は暫くおいても吾々が取返しのできないことを口惜しく思ひ、

全てをこぼさずにして人生を今一度初めからやり直すことが出来たらと思ふやふなことがどんなにあるか知れない。そして吾々は、申さば宿命ごとであり運命の業であつて、自分自身の力では如何とも出来なかつた事柄に對してさへも、尙ほ且つ「あゝなれば宜かつたものを」との嘆聲を漏らすこと屢々である。例へば「お父さんがもつと賢く導いてゐてくれたら……」「お母さんがいまま少し嫉に氣をつけてゐてくれたら……」など

「さもあらばあれ、吾々の」

○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○

【朝】味噌汁——ねぎ 小井

生玉子

【晝】馬鈴薯煮付

【晚】カレーライス 福神漬 野菜シチュー

凡てのために若干の希望が深く埋まつてゐる。そして若し「天使が墓から其石を取り去る」ことをしてくれないならば、吾々は自分の手で墓石を取りのけ、人の眼からかくれてゐる希望を自分自身の眼で見出すことは出来ぬものだらうか？吾々は既にそれを發見してゐるのである。惠深き神(そ

れを自然と稱んでも宜い)は、吾々が人生を修正し、今一度繰返して生きる機会を吾々に與へて下さる。斯くも貴重な機会とは何？「若干の希望」どころではなく、最大の希望とは抑々何か？それは、吾々が人の子の親となることに外ならぬ両親は我が子の養育に於いて、自分には既に失はれた過去を取戻すことが出来るのだ。彼らは「あゝなれば宜かつたものを」との愚痴の中にくづはれて居る必要はないのである。

美味！
 芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社
 電話一〇番

看護婦急派

求めに應じ

平町南町

平看護婦會

電話三〇七

三菱電氣コタツ特價販賣!!!

御申込は今直ぐにお忘れなく!!!

◆勧誘期間十一月十一日ヨリ二十五日マデ

冬を朗らかにする電氣コタツは手間はかゝらず、瓦斯は出さず、温度はいつも適當で、危険もなく、電氣料金は特別ですからとても經濟です。コタツは信賴の出来る三菱電氣コタツです。是非御宅でも御使用を!

電氣料金も特典提供中

東部電力株式會社

電話一五四番

容量	定價	電氣料	
		電氣料	電氣料
60ワット	5.50	4.00	2.40
200ワット	7.50	6.30	4.20
300ワット	7.50	特價500	6.00
400ワット	12.00	9.00	7.80

類焼

改築三週年記念

スポーツに紅葉狩りに秋冷快適の折からハイキング、ピクニック等の趣是非御立寄を御願致します。因みに価格は左の割引を以て御客様の御愛顧に酬ひんとする弊店の意の在る所をお酌取り下さい。

平町田町

石川亭

電話四三番

魚清食堂

電話六三三

御祝儀、御法事の仕出し 廉價に御引受け致します

耳鼻咽喉科専門

平田町(電話六九一番)

病室完備 自炊便有

山内醫院

醫學士 山内亨 吉

過般列車遭難の奇禍に際しては早速御懇篤なる御慰問を辱ふし感激の至りに奉存候、爾來高久病院に入院加療中の處漸く小康を得去る九日歸宅致し候に付乍他事御省念被成下度乍略儀以紙上御挨拶申上候

十一月十二日

平町大町

山野邊陽

郡内在米高

冷害八千石減收

山間部被害激甚

都會の飯米吸集で 心細い暗鬱の各農家

平穀物検査所が十月一日現在で調査した十年度の郡下在米高は一萬一千五百九十七石七斗で昨年同期の二萬二千七百七石に比し本年度は八千五百二十九石六斗を減少して居るが此れは冷害其他の稲作減収から來たものであるが町村別の在米高を見ると流石に平町は二千三百八十五斗で郡内最高、湯本が七百二十五石二斗、内郷六百八十九石六斗、飯野六百八十二石二斗等が多く他の農村は二三百石平均で三坂田人荷路夫等の山間部落の在米はいづれも四五十石から最低十一石と云ふ心細さで古米は農家を離れて都會にのみ吸集されて居る

勿來振興會

小作米協定

勿來町振農會は冷害と天候不順に災されて稲の減収あるためこれが打開策として地主と小作人が十四日午後一時同町役場に集合、小作米の協定をなすことになつた、尙優良小作人の表彰も行はれる

對抗競技

郡教員軍勇躍

茨城教員と對戰

廿三日必勝を期して遠征

郡下小學校教員と茨城縣多賀郡教員との對抗競技會は來る廿三日午前九時より茨城縣松原小學校庭に於いて開催、兩郡教員團の陸上競技男女

居る、本郡出場選手左の如くである

- (百米) 草野仁 木田谷平 小林正毅 丹野富士男
- (二百米) 渡邊彌平 鈴木武雄 森山東吾 草野仁 (四百米) 雄木武雄 渡邊彌平 小林清海 森山東吾 佐藤定翁 (八百米) 渡邊彌平 佐藤定翁 高木勝男 (走巾跳) 丹野富士男 佐藤吉雄 渡邊彌平 草野仁 (走高跳) 鈴木武雄 森山東吾 西牧清富 小林清海 大塚操 (三段跳) 丹野富士男 佐藤吉雄 鈴木武雄 西牧清富 (砲丸投) 西牧清富 鈴木武雄 渡邊義衛 (圓盤投) 西牧清富 高橋一郎 鈴木正 佐藤兼介 (槍投) 渡邊義衛 高橋一郎 西牧清富 木正 (四百繼走) 木田谷平 小林正毅 草野仁 佐藤吉雄 鈴木正 鈴木五郎 (八百繼走) 渡邊彌平 鈴木武雄 草野仁 森山東吾 西牧清富 (籠球男子) 野原忠見 木田芳重 野川正夫 佐藤勝彌 上野野万 風間覺雄 大友能一 高畑正次郎 根本正治 橋本正雄 高杉清壽 比佐正吉 (女子) 菊地キヨ 橋本テヲ 佐久間ヒサ 廣田トシ 大和田キエ 阿部教子 橋谷田満子 矢吹トキ子

唱歌協議會

五訓導出席

縣下唱歌教育協議會は來る十五日より三日間福師講堂で開催されるが本郡より出席訓導左の五氏で駒ヶ嶺訓導は「複式教授に於ける唱歌教育の一考察」と題する研究發表を行ふ筈

納税デ打合

既報 來る十七日午前九時から平第三小學校に開かれる納税デ打合に就いての演三郡各町村財務主任會の協議案左の如くである

一、納税デ打合の件
一、納税獎勵員設置の件
一、納税滞納報告期間勵行の件

災害地牝馬

種付料補助

本郡に於ける十年年度災害地はん殖牝馬種付料補助交付金はこの程石城産馬畜産組合に交付されたが金額千三百三十三圓五十五錢で頭數千三百三十三頭あり種付料三圓のものに下附補助金一圓廿五錢六三五頭、同四圓は一圓六十四錢の六四六頭、同五圓は一圓六十四錢四九頭である

若人の意氣發洩

平商秋季武道

十二日柔剣道大會舉行

平商業學校の秋季武道大會は昨日午前十時から同校武道場で舉行され、剣先火を吹く剣道と肉弾相搏つ柔道に壯烈な熱戦を展開したが三人抜以上の入賞者左の如く、剣道學級對抗には四年甲組が優勝した、尙呼物の職員對抗試合は日没のため中止した

- △柔道(一年) 齊藤紫光 坂本健次 根本正 五十嵐進 小齋新平 杉田祥
- △柔道(二年) 阿部早雄 菅野久夫 新妻一榮 土井計三(二年) 大井川光男
- △柔道(三年) 勝倉武男
- △柔道(四年) 阿部早雄 菅野久夫 新妻一榮 土井計三(二年) 大井川光男
- △柔道(五年) 阿部早雄 菅野久夫 新妻一榮 土井計三(二年) 大井川光男
- △柔道(六年) 阿部早雄 菅野久夫 新妻一榮 土井計三(二年) 大井川光男
- △柔道(七年) 阿部早雄 菅野久夫 新妻一榮 土井計三(二年) 大井川光男
- △柔道(八年) 阿部早雄 菅野久夫 新妻一榮 土井計三(二年) 大井川光男
- △柔道(九年) 阿部早雄 菅野久夫 新妻一榮 土井計三(二年) 大井川光男
- △柔道(十年) 阿部早雄 菅野久夫 新妻一榮 土井計三(二年) 大井川光男

荒川利夫(三年) 金成久吉

佐藤真一郎 渡邊清吉 緑川喜夫 中村忠雄 (四年) 會川太平 鈴木正平 志賀清(五年) 千葉忠雄

小學校打合會

平職業紹介所は來る十六日午前九時半より町會議事堂に連絡小學校の左記事務打合せ會を開く

- 一、紹介事務打合せの件
- 一、就職後の輔導の件
- 一、職業指導研究會設置の件
- 一、書類提出期日の件

平町人

△木村町一六柴一枝氏三男 輝夫さん
△下谷區仲御徒町三丁目二六小野秀易(三九)氏四丁目二八鈴木ミサ(三七)さん
△神奈川縣横濱市保土ヶ谷區宮田町五六二猪爪留藏(三〇)氏胡摩澤一二二中村サヨ(三二)さん

回死

△七丁目當時東京市荒川区町田二一五八黒田文治方 夏井榮造(七八)氏

平職業紹介所報告

△人を求める方
△漁肥雜役 廿七才迄 給十二圓
△製紙雜役 卅才迄 日給

七十錢

△雜役 廿才迄 尋卒 日給四十五錢
△粕人夫 卅才迄 月給十二圓

洋樂入門はハモニカから

ヤマハバンド景品付賣出し
ハモニカ景品付賣出し
オクターブ 一、七
一、七以上
良品は所有者の誇り
山葉オルガン・ピアノ・特約店
國定教科書販賣所
角忠 佐々木商店
平公園前・電話二三三番

回職を求むる方

△女中 廿才迄 給料五圓 仕着
△鐵筋職 卅一才 高卒
△旅館番頭 卅四才 高卒
△配達人 卅才 尋二修
△料理人 四十三才 高卒

上田病院

平町 南町
電話一二九番

一冊の代金

御希望通りな
五冊の雜誌が
自由に讀める
川崎 回文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

犠牲者遺族に

鐵道弔慰金

十一日鐵道のお歴々來平 顛覆慘死者の佛前に香華

警越東線川前驛附近の列車 轉覆事件で死の犠牲となつ た平町鈴木邦三郎氏外五氏 對し鐵道當局ではその弔 慰法に就き慎重なる調査を 行つて居たが事故發生の原 因は不可効力な天災で鐵道 側の過失に依るものでない 事が判明した爲め前記六氏 の遺族には鐵道弔慰法の規 定に依り各々金一封(五百 圓)を贈る事に決定、昨十 二日仙臺鐵道局副參事、陪 償掛柴田吟三氏外石原、山

平小路線

鹿島村陳情

鹿島村志賀村長並に村議連 合は十五日東京、平小鐵道路 線に就いて十六日關係主務 省に陳情をなすことになつ た

窓の紹介所から見た

求職者に 妻帯者が多い

根據の無い生活の 不安が原因か

平職業紹介所の 十月中の業 績は求職者七八名、女四八 名、計百二十六名で求人者 は男八〇名、女三八名、計 百十八名、就職者男五九名 女三九名、計九十八名の數 字を示してゐるが前月との 比較は求人四十九人、求職 者五十三名の何れも増加で、 亦昨年同月よりも求名五十 五名、求職七十二名の双方 増加を示して著しい同紹介 所の求人、求職開拓の努力 を見ることが出来るが依然

鐵材下口

内郷村大字宮宇坂四七伊 藤勇治(三)は昨年一月頃よ り本年八月まで數回に亘り 磐城炭礦から鐵材廿貫餘を 窃取平町の古物商に買却し たこと發覺平署員に檢舉さ れた

牛の流産 豫防注射

石城地方 に於ける 牛の傳染性流産豫防の爲め 縣衛生課は左記日割で豫防 注射を行ふ

前科四犯の大物

消防小頭が逮捕

今朝好間村の武勇傳

好間村大字北好間字平場番 地不詳居住、伊達郡太田村 大字大泉字平地内六人生れ 無職窃盜前科四犯大山廣 (七)は本十三日午前九時頃 同村上好間字今宿三七農渡 邊房治方に忍び入り金品物 色中を同家養子貞治(三)に 發見され逃走せんとしたが 貞治は隣家の同村消防小頭 大平光明(〇)に應援を求め て協力逮捕平署に突き出し た、目下餘罪取調中

郡内を荒した

コソ泥棒御用

内郷の自轉車泥餘罪發覺

十二日午前一時頃より五時 頃までの間に勿來町日本炭 礦物品販賣所に賊侵入して 白米四俵、メリヤスシャツ その他卅点を窃取せるもの あり植田署で捜査中茨城縣 東茨城郡長岡村生れ水野利 行(二)を前記犯人として檢

天 今晩は曇つたり 晴れたり明日は 北西の風晴曇半 報 予 十四日

況空也堂本堂より中繼 後八、二〇 小唄 後八、三〇 大合唱 第三 回音楽週間日比谷公會堂 より中繼 後八、五〇 ラヂオ小説 放送文藝懸賞當選作町の 驛音坂春之助作 ニエト 後九、三〇 時報 氣象通 報 番組豫告 明日の部

今 晩 の 部 後六、〇〇 子供の時間 婦供の音楽會テアトルピ ッコロ作曲 並ピアノ伴 奏 小林福子 後六、二五 基礎英語講座 (二十九)岡倉由三郎 後七、三〇 講演「國防と 燃料海軍燃料」廠長海軍 少將 山中政之 後八、〇〇 空也念佛誦實 間、廿五日内郷、廿六日 高久、湯本、廿七日渡邊 植田、廿九日錦、勿來

平町に... 癩患者行倒 昨十二日平町に行路病者が あり役場から藥代、食費費 一圓四十錢を給與されたが 右の者は大阪市東成區林寺 町二十一農太田佐助(三)で 同人は癩患者のため青森收 容所に立向ふ途中注射液 (鹽酸ヘロイン)缺乏して行 路に難澁し施藥方を町役場 に願ひ出たものである

裁縫指導講話 平第 二小學校の裁縫科研究教授 會は今日十三日午前十時から 開催、四年三組佐竹訓導、 五年二組蛭田訓導、六年一 組鈴木訓導、高二年二組國 分訓導の指定授業あり午後 二時半より本縣同科視學員 相木氏家教諭の指導講話等 があつた

平裁判たより △住居不定無職相馬郡八澤 村大字南海老生れ前科六犯 浦尻繼喜(三)が去る四月八 日迄泉驛前劇場外數ヶ所へ 忍入り衣類現金等を窃取し た事件は近く平區小林判事 係り清田檢事立會公判開廷 される △植田町字金畑古物商吉田 安左衛門(五)は前記浦尻よ り及び同町古物商堀田安之 助を通じて粧品を買受け所 定帳簿不記載の廉で略式罰 金二十圓 △錦村堂の作精米業赤津春 次(三)は前記浦尻の粧物を 保管及び買収し粧物故買で 浦尻と同様公判に附される

玉屋洋品店 平町田町通電話六五六番



明治太平記

(上段及上段)

(作) 寺島正史
(監) 野口松世

第二百七十四回

俄か頭目 (八)

おとわは、くらやみの中で、大志賀の竹刀だこのあ
る手を探し求めた。

「あなた」

枯葉のやうな、女の手を
こちらからも求めた。二人
は手を握り合つた。

「あたし……生きたい」

死にたいといふ強い言葉
のかはりに、おとわの色あ
せたうちびるを洩れるもの
は、弱い、しかし弱いなが
らかすかによるこびに顫え
た、生きたいといふねがひ
だつた。

「うむ、おれも生きる。死
んでたまるものか」

「あたし、けれど、死にた
い……」

「おれも……」

「おれも……」

「おれも……」

「おれも……」

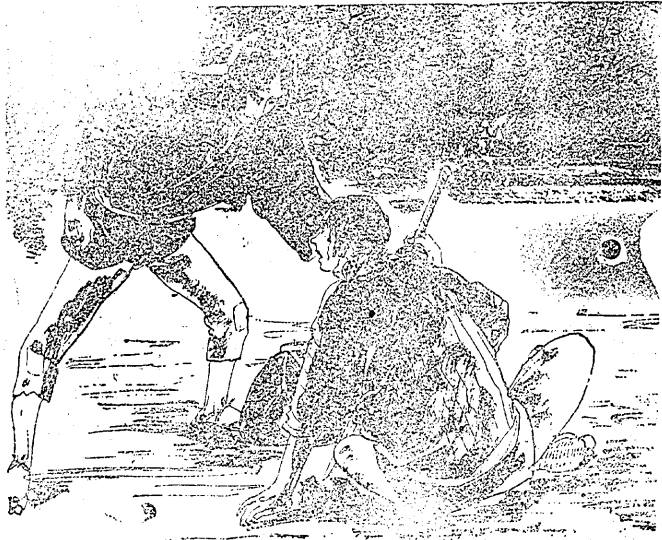
「おれも……」

「おれも……」

「おれも……」

「おとわ、夜の明けぬうち
に、こゝを出て、山里へい
くのだ。そして、このうれ
しさを、いつまでも、いつ
までも続けよう」

「おとわ、夜明けぬうち
に、こゝを出て、山里へい
くのだ。そして、このうれ
しさを、いつまでも、いつ
までも続けよう」



「うれしうござんす」
涙に似た感情が、ふたり
のくちびるをかたく結ばし
た。

「おとわ、山へいくにして
も、おまへ歩けぬだらう」
「……」
「それに、東京を去るにし

かはない。暫く待つてをれ
……」
「……」
「おとわ、おとわはそ
のまゝ崩折れてしまつた。
聲を忍び、うれしさか、悲
しさか、永き崩れたのだ。
泣き崩れるおとわを振り
切るやうにして大志賀は階
段をおりた。

「誰だ」
大志賀は、やみくもで身
がまいた。
「な、その聲は、親分？」
「なに、おぬしは、木隠れ
だな」
「親分、おれア……」
「くるしうに、息づくば
かりだ。
「天竺はどうした？」
「多勢にかなはず、たうと
うとらへられた」

時節柄 値下げ!

時節柄 値下げ!
時節柄 値下げ!
時節柄 値下げ!
時節柄 値下げ!



阿部石炭商店

レストラン 平岡鮎
電話 624

内外科 一般
金成醫院
院長 金成忠義
平鎌田町(電三五八)

歯科 口腔外科
レントゲン科
院長 原精一
原齒科醫院

吸入用 酸素純度 99%

度量衡 器量計
体温計
寒暖計

關内藥局
電話 四〇番

株式賣買
三共商事
電話 三六〇番